

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年7月17日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470202585		
法人名	有限会社 再輝堂		
事業所名	グループホーム福寿草		
所在地	広島市安佐南区相田2丁目15-19 (電話) 082-832-7110		
自己評価作成日	令和3年6月2日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470202585-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470202585-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年6月30日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホーム福寿草は、基本理念（和顔愛語）の下、「皆がいつも楽しく過ごせるように、和やかな笑顔での介護、愛しい言葉での介護を心掛けています。」季節を感じられるケア、花や野菜を手にとっていただいたり、窓辺に花を植えたり、季節の行事等、五感を大切にするケアを実践しています。食事は最後まで、お口から食事して頂ける様に、その人に合った形態での食事を3食手作り提供し、「ここに来て本当に良かった!」と思って頂ける様に、スタッフ一同取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所理念の「和顔愛語」を胸に各職員が日々のケアに取り組んでいる。地域交流も盛んに取り組んでおり、利用者も町内会に加入し、いきいき100歳体操に参加し、ポイントを集め、欲しいものを自分で決めて購入する事で生きがい作りにも繋がっている。食事を3食手作りしており、個々の嗜好や食事形態にも柔軟に対応している。あらかじめ献立を決めることはせず、その日ある食材を利用者と見て、相談する事で昔を思い出している。代表者が医師であり、事業所への訪問も毎日行われていることから日々の変化にも柔軟に対応することが出来、適切な医療的ケアが提供されている。そのことから看取りケアも実施しており、終の棲家として選ばれるよう、ケアの向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b>  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	朝の申し送り時は、「和顔愛語」を確認して、今日も一日笑顔で接する様子を、ミニミーティングを行っている。	開設時より事業所理念「和顔愛語」を掲げている。業務開始時に唱和・確認を行い、理念を胸に業務にあたるようにしている。日々の生活の中で利用者にも笑顔で過ごしていただくために何ができるのかを職員ごとに考え、実践している。	事業所理念を大切にし、職員にも定着している。ここで一つ取り組みを進め、理念を念頭に個人目標を定め、職員個々を評価・振り返りの機会となるような取り組みに期待したい。
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b>  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	利用者全員、町内会に加入して、町内清掃活動にも参加している。「福寿草だより」を町内会で回覧して、ホームの状況を理解して頂いている。近所の方に、お花や野菜を頂いたり、敬老の日には、町内会からも祝福されている。	事業所だけでなく利用者自身が個々に町内会に加入している。近隣の集会所で行われるいきいき100歳体操にも出向き、ポイント集めをすることが利用者の生きがいとなっている。町内会の協力の下に駐車場を大型ごみ収集日に貸し出したり、ごみ集積場を新設するなど相互の協力関係を構築している。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b>  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方の相談や質問などにも随時対応している。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b>  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍の下、会議の開催は出来なかったけど、通報訓練、避難訓練の時は、消防署職員、町内会長、包括支援センターの職員の方に立ち会って頂き、反省会で御意見、感想、助言など頂いている。	コロナ禍のため、開催が困難な状況の中、消防署員や関係機関参加のもと避難訓練と会議を合同で行うなど、事業所運営への意見の取りまとめに尽力している。コロナ禍以前は曜日や時間・行事と連動するなど会議に参加し、楽しめるような工夫をしている。	
5	4	<b>○市町との連携</b>  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市、区の介護保険課や地域包括支援センターに相談させて頂いたり、指導頂いたりしている。生活保護の方の受入れも行っている為、生活課の方とは色々相談している。	市・区の担当課への書類提出時はFAXなどは使わず、必ず出向くことで顔見知りの関係を構築、継続している。生活保護担当課とも協力し、出向くだけでなく、担当課職員の訪問もあり、協力し利用者の生活を支えている。事業所間の連絡会にも出席し、日々情報交換している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束をしないケア」をスタッフ一同で共有し、実践に努めている。しっかり声掛け、見守りを行い、玄関の施錠は、夜間のみしている。</p>	<p>地域の方の見守りや家族の理解のもと事業所玄関の施錠は日中行っていない。身体拘束委員会内で日々のケアについて振り返りを行い、グレーゾーンにあたる行為についても厳正に対処している。職員間でも転倒リスクの共有などを徹底し、事故防止に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>基本理念（和顔愛語）のもと、スタッフ全員で虐待防止に努めている。ミーティングで話し合っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>様々な事情により、ご家族と疎遠な方に対して、成年後見人や成年後見補助を司法書士の先生に依頼して、支援してもらっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、契約書運営規程など説明して、納得して入所して頂く様にしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>毎月一度、ご家族宛に利用者の状況など報告して、御意見、要望などを聞く様になっている。玄関入口に意見箱を設置して、いつでも受入れられる様にしている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置し、意見の収集に日々努めている。面会や訪問の難しい遠方の方などには電話やアプリを使い、利用者の状態を報告のもと、要望を聞くようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>いつでも職員の意見、要望は取り入れられる様、配慮している。年2回行っていた懇親会は、コロナ禍の下、出来なかったけど、スタッフ同志、何でも話せる関係作りに努めている。</p>	<p>管理者は日頃から業務に携わっており職員との距離も近く、なんでも言い合える関係を構築している。月1回のミーティングだけでなく、適宜個人面談を行うことで日々の業務を気持ちよく笑顔で行えるようにしている。職員の声からシャワーチェアを購入したことがある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の意見を聞いて、可能な限り改善に努めている。家庭の事情等を聞き、可能な限り、シフトの配慮を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>管理者や職員には、働きながら経験を積み重ねる様に勧めている。研修等は受けられる様に、シフトの配慮は行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>グループホーム協会に加入して、情報交換や相談など行っている。地域包括支援センターとも交流し、助言頂いている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人の希望などを聞いて、職員間で共有し、信頼関係を築き上げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の希望などを聞いて、職員間で共有する為、ケアプランに取り入れて、信頼できる環境作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人や家族の希望など、しっかり聞いて、的確に把握し、対応する様に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は暮らしの中で、利用者から智恵や料理を教えて頂いたりしている。洗濯物を一緒にたたんだり、お部屋の掃除を一緒に行ったり、出来る事は一緒に行う様、心掛けている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人の日々の様子をラインやメール、写真で送ったり、電話で話したりと、職員が間に入って関係を支えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ラインを通じて、日常の写真を送ったり、手紙や年賀状など、職員が手伝いなじみの関係が保てる様に支援している。</p>	<p>利用開始時、関係のある人などこれまでの人生背景について家族に聞き取りを行い、その後も関係を継続できるようにしている。家族対応にて自宅への外泊やなじみの場所へ外出した事例もある。面会は家族だけでなく友人の訪問もあり、大切な時間を共有できるように努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同志の関係性を把握して、席の配慮など、お互いに関わりが持てる様に、職員が間に入り支援している。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	手紙や電話、メールなどで連絡を取り合う様にしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日頃から、本人の好みや得意な事などを話題にして、本人が何をしたいのかを把握する様にしている。本人から聞き出せた情報は、全職員で共有している。	食事メニューが決められていないこともあり、日々の業務内で意図的に食事だけではなく生活の希望や意向を把握できるような工夫がなされている。把握したものは連絡ノートにて共有し、実現に向け取り組んでいる。表出の困難な方へは交流の中で表情や目の動きにて把握に努めている。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	一人ひとりの経験や暮らしを把握して、役割や出番など場面作りをしている。例えば、針仕事（つくろい物）やボタン付などお願いしている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	一人ひとりの体調や、ペースに合わせて、日々を笑顔で穏やかに過ごして頂ける様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は、本人、家族の意見を取り入れ作成している。職員間で計画の内容については、担当者会議を行い、見直している。</p>	<p>計画担当者を中心に全職員に聞き取り・担当者会議を行うと共に、連絡ノートを活用することで日常生活に即した介護計画となるようにしている。裁縫が得意な方の計画に日々の役割として衣類のほつれ直しを導入した事例もある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>利用者の状態が把握出来る様に、具体的な記録をしている。情報は、職員で共有しながら実践している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その場の状態、状況に応じて臨機応変に行動、対応する様に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内の方、消防署、コンビニなどに協力して頂く様に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>必要に応じて、協力医の往診、診察を受けている。希望されるかかりつけ医などの受診は、職員の同行、支援している。</p>	<p>代表者が医師であり協力医を務めている。毎日事業所に訪問をすることで適宜に診る事が可能であり、利用者の多くが主治医を変更している。以前からの主治医の継続も可能としており、その際は職員も同行し、家族への負担軽減にも繋がっている。月1回の協力歯科の往診もあり協力関係も構築できている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は、利用者の身体状態の変化や気づきを、随時管理者を通じて医師に伝え、適切な医療が受けられる様に支援している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院された際は、ホームから入院先に面会訪問したり、病院とのカンファレンスに参加したりして、状態の把握や退院後の方向性について、家族や病院関係者と話し合っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に本人や家族に終末期の対応について、聴き取りしている。看取りを希望される場合は、医師と連携して、本人、家族の希望に添える様にしている。	入所時に本人・家族を交え、方針の決定・同意を得ている。重度化が見られた際もその都度医師より説明を受けた上で方針を決めている。代表者医師とは24時間連絡が可能で急変時の対応も行っている。看取り時には管理者が常駐し、職員の負担軽減、家族とも連絡が取れるようにしている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応や応急手当など、マニュアルを作成して、勉強会を行っている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、夜間を想定しての訓練を行っている。避難訓練には、町内会長、消防士など参加してもらい、指導を仰いでいる。マニュアルを作成し、実践している。	年2回の内1回は必ず消防署員立ち会いの下、夜間想定で訓練を実施している。町内会とも協議を進め、避難時の見守りをお願いしている。同町内会会員に消防士がおり、連絡を取り合い、指導を仰いでいる。備蓄は食料を中心に3日分備えており、消費期限が近くなるとおやつに活用し注意している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員会議で徹底している。日々の会話では、基本理念に基づき、優しい言葉かけに努めている。	「人生の先輩である」という考えを念頭に「和顔愛語」を元にケアに取り組んでいる。呼称名については一概に「～さん」とはわれず、家族・本人に希望を取り、下の名前で呼ぶ対応もしている。外部研修にも参加し、人格・尊厳の尊重とは何か職員会議内で思索し対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	あらゆる場面で、本人の希望に添える様に、「どうしようかね?」「どうしたらいいの?」の声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にし、生活して頂ける様に支援している。出来るだけ、本人の希望を聞いて、希望に添える様に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好みの衣服や、格好が出来る様に、自分で服を選んで着て頂いている。訪問理容美容を受ける際は、本人の希望（丸刈り、おかつぱ等）を取り入れている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事のメニューは、利用者と相談して決めたり、野菜の皮むきなど、手伝ってもらったりしている。誕生日には、好みの献立を用意したり、手作りのケーキでお祝いしている。	3食手作りで対応しており、毎日利用者と冷蔵庫を見て食事メニューを決定している。希望・要望にはその都度、季節の食材を取り入れるなど柔軟に対応している。朝食も好みに合わせパン・ごはん・粥の対応と個別ケアに取り組んでいる。行事としてそうめん流しを企画したこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの希望や状態に応じて、その人に合った食事の提供をしている。例えば、朝食はご飯、粥、トースト等、栄養のバランスを配慮している。水分や食事の摂取量は記録し、把握、管理している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>定期的に歯科医、衛生士の訪問を受け、検診、口腔ケア等して頂き、スタッフにも助言、指導して頂いている。食後、うがいや歯磨きなど、個々に応じて行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を残し、個々の排泄パターンを把握して、トイレ誘導、排泄介助など支援している。</p>	<p>「どんな方でも座って排泄する」ことを大切にし、トイレの便座に座ることが難しい方にもポータブルトイレを設置し、必要に応じて2人介助で対応している。また、手すりも左右別で設置し、麻痺のある方へも柔軟に対応でき、身体状態に合わせた自立支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>植物繊維を多く含む食品を食材を取り入れたり、水分補給や体操するなど、便秘予防の取組をしている。排泄の記録は把握している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>二人体制で、入浴時は、一人ひとりの時間をとり、入浴して頂いている。声掛けしながら背中を流したり、シャワーをかけた支援している。</p>	<p>週2回、午前中に入浴を基本に利用者の希望に合わせて柔軟に対応している。浴室は1対1の対応とし、ゆっくりと安らげる時間となっている。入浴後には保湿クリームを塗り、皮膚状態の保清に努めている。ゆず湯・しょうぶ湯だけでなく、職員宅で咲いたバラを浮かべたこともある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一人ひとりのペースに合わせて休憩したり、活動したりされる様に支援している。リビングにソファを置いて、自由にくつろげる様にしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>医師の指導の下、確実な服薬支援の為、再度、服薬前に氏名を確認の上、個々に手渡しで服薬してもらっている。症状の変化にも注意している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>利用者それぞれの得意とするもの、出来る事など把握して、役割や楽しみを持って生活出来る様に支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍で外出は出来ないけど、希望に添える様に、庭に出て花を見たり、日光浴をしたりしている。</p>	<p>コロナ禍の状況下で敷地外に出ることは難しくなっているが、庭に出ての外気浴による気分転換など工夫を行っている。以前は錦帯橋や土師ダム、縮景園に出掛け、外食を楽しむなどしていた。個別対応としても孫の営むハーブ喫茶に出向くなどの外出支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>利用者や家族の希望に応じて支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族や友人に手紙、ハガキ、電話など、希望に応じて支援している。コロナ禍の下、面会自粛された家族に、ラインやメールで写真を送ったりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご自宅の様な雰囲気や、落ち着いて過ごせる様に支援している。玄関や廊下には、季節を感じられる様な飾り付けをしたり、作品の掲示をしている。</p>	<p>事業所の構造上2階の部屋も住居スペースとなっており、階段に電動昇降機が設置しており、日々の移動に活用している。食堂は近隣の畑が隣接しており、農作業中の地域住民の方と交流している。利用者の趣味の作品や塗り絵などを展示するスペースもあり、日々の活動に繋がっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>好きな場所で、自由に過ごせる様に、ソファを置いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使用されていた馴染みの物を持って来て頂いたりして、安心して居心地良く過ごせる様に配慮し、部屋作りは、本人や家族にしてもらっている。ソファやテレビも設置されている。</p>	<p>備え付けはベッド、カーテン、収納となっている。部屋は畳張りとなっており、本人の希望・状態により畳に布団を敷くという昔ながらの生活も可能である。入居時には部屋のレイアウトを家族、本人に依頼することで過ごしやすく平穏に生活できる居住空間を保っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの身体状態に応じて、安全に過ごして頂ける様に、手摺を設置したり、階段では昇降機を設置して、利用を支援している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム福寿草

作成日 令和3年8月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	基本理念は周知しているも。	明確な目標を立てる。	個人目標を定め、2ヶ月に1回振り返り、目標の見直しをする。	1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。